

中学地理プリント（書き取り）  
世界の気候と文化

名前

得点

/20

- 問1 亜寒帯の土地で、寒さのために農業に適さず、酸性を示すことが多い土壌のことを何という？
- 問2 ステップ気候の地域で、羊や牛などを飼育しながら移動する生活スタイルを何という？
- 問3 ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の北部に広がる、寒冷な気候に適応した樹木が作る森林を何という？
- 問4 乾燥が激しく樹木がほとんど育たず、短い草が広がっている気候区を何という？
- 問5 乾燥帯の地域で、地下水をくみ上げて農業を行う場所を何という？
- 問6 キリスト教がヨーロッパ各地に広まるきっかけとなった、古代の地中海世界を支配した大帝国を何という？
- 問7 紀元前6世紀ごろに誕生し、その後、中国や朝鮮半島を経て日本にも伝えられた世界的な宗教の起源となった地を何という？
- 問8 北アメリカにあるステップ気候の草原地帯を何という？
- 問9 イスラム教の信者が年に一度行う、日の出から日没まで飲食を断つ宗教的な行事を何という？
- 問10 イスラム教の礼拝所で見られる、ドーム型の屋根や尖塔（ミナレット）を特徴とする建築物を何という？
- 問11 遊牧で得られる家畜の体からとれるものの中で、衣類や防寒具の原料になるものを何という？
- 問12 北極海沿岸やグリーンランドなどで一年中気温が低く、非常に寒冷な気候帯を何という？
- 問13 草地で家畜を飼いすぎることによって土地が荒れ、砂漠のように植物が育たなくなること何を何という？
- 問14 赤道付近の熱帯で、一年を通して発生する激しいにわか雨のことを何という？
- 問15 冬の寒さが厳しく、地面の下が一年中凍結したままの土地のことを何という？
- 問16 東南アジアやブラジルなどで、カカオやコーヒーなどを輸出用に大規模に栽培する農園経営を何という？
- 問17 農作物を収穫した後の土地の栄養を回復させるために、長期間耕作をやめて放置することを何という？
- 問18 大航海時代以降にヨーロッパ人の移住が進み、現在ではキリスト教徒が世界で最も多い国として知られる南アメリカの国を何という？
- 問19 乾燥帯で見られる、短い雨季に短い草が生える程度の草原地帯を何という？
- 問20 タイやミャンマーなどで広く信仰されている、個人の修行を重視する仏教の宗派を何という？

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え</b> <b>ポドゾル</b>	ポドゾルは、針葉樹林の腐植層の下に形成される灰白色の土壌です。酸性が強いため養分が溶け出しやすく、農業にはあまり適していません。寒冷な気候条件がもたらす独特の土壌形成プロセスによって、この色が特徴的な地層が作られます。
問2	<b>答え</b> <b>遊牧</b>	遊牧は、羊、山羊、馬、牛などの家畜を連れて、季節ごとに適した水場や草地を移動する生活形態です。定住型の農業に適さない環境を賢く利用する知恵であり、古くから中央アジアなどの乾燥地で発達しました。家畜は食料だけでなく、移動式住居の材料にもなります。
問3	<b>答え</b> <b>針葉樹</b>	針葉樹は、葉を細い針状にすることで、表面積を減らし、水分が凍結して失われるのを防いでいます。代表的な樹種にはトウヒやモミ、カラマツなどがあります。これらの樹木が密集して広大な森林を作っているのが、北半球の高緯度帯です。非常に成長が遅く、寒さに強いという特徴があります。
問4	<b>答え</b> <b>草原</b>	草原は、砂漠と湿潤地域の中間に位置するステップ気候などで見られる特徴的な景観です。背の高い樹木は育ちませんが、限られた雨水でも成長できる草が一面に広がります。家畜の飼育場所として非常に重要な役割を果たしています。
問5	<b>答え</b> <b>オアシス</b>	オアシスとは、砂漠などの中であって、地下水を利用して植物が育ち、農業や集落が維持できる場所です。自然に湧き出る泉のほか、古い時代から開発された地下水路を利用して、ヤシや穀物、果物などを栽培するオアシス農業が行われています。
問6	<b>答え</b> <b>ローマ帝国</b>	ローマ帝国は当初、キリスト教を弾圧していましたが、4世紀に皇帝がこれを公認しました。さらにその後、国教（公式の宗教）とすることで、教義は地中海周辺からヨーロッパ全域へと爆発的に広まりました。
問7	<b>答え</b> <b>インド</b>	インドで誕生した仏教は、苦しみからの解放を説く教えとして、人々の間に急速に広まりました。その後、北方ルートを通じて中央アジア・中国・朝鮮半島を経て、6世紀半ばに日本へ伝来しました。
問8	<b>答え</b> <b>プレーリー</b>	プレーリーは、北アメリカの乾燥した地域に分布する大草原です。かつてはバイソンが群れをなして生活していましたが、現在はその広大な土地の大部分が、最新の機械を用いた大規模な小麦栽培地として利用されています。乾燥帯の気候に合わせた土地利用が行われている好例です。
問9	<b>答え</b> <b>ラマダン</b>	ラマダンはイスラム暦の第9月に行われる断食期間です。信者はこの期間中、日の出から日没まで一切の飲食を断ち、信仰を深め、貧しい人々に思いを寄せます。日没後には家族や友人と食事を共にし、お互いをいたわり合います。
問10	<b>答え</b> <b>モスク</b>	モスクは、信者が礼拝を行うための施設です。特徴的なドーム型の屋根や、高い塔（ミナレット）が備わっているのが一般的です。ミナレットは、礼拝の時間を知らせる呼びかけを行う場所として使われてきました。内部には偶像が置かれず、壁には美しい幾何学模様などが施されていることが多いです。
問11	<b>答え</b> <b>毛皮</b>	毛皮や羊毛は、遊牧民にとって非常に重要な資源です。羊、ヤギ、ラクダなどを飼育することで、食料としての乳製品だけでなく、寒さをしのぐための衣服や寝具の材料を得ることができます。これらは生活必需品であると同時に、他の地域の人々と交換するための貴重な交易品でもあります。
問12	<b>答え</b> <b>氷雪気候</b>	氷雪気候は、最暖月でも平均気温が0度を超えない、寒帯の中でも最も過酷な気候区分です。一年中地表が厚い氷雪に覆われており、植物はほとんど生育できません。南極大陸やグリーンランドの内陸部などがこの気候に該当します。
問13	<b>答え</b> <b>砂漠化</b>	砂漠化は、過放牧によって草が根ごと食べ尽くされ、表土が風で飛ばされることで起こります。また、樹木の伐採や農耕の拡大も要因です。一度土地が砂漠化すると、土壌の保水力が失われ、再び植物が育つことは非常に困難になります。特に遊牧地域では、移動を繰り返す伝統的な暮らしを離れて定住が進むことで、特定の場所に負担が集中し、この現象が加速しています。
問14	<b>答え</b> <b>スコール</b>	スコールとは、熱帯地方で見られる強烈なわか雨のことです。日中、気温が上昇して強い上昇気流が発生すると、積乱雲が急速に発達し、バケツをひっくり返したような激しい雨が短時間降ります。風を伴うことも多く、一過性ですが非常に勢いが強いのが特徴です。
問15	<b>答え</b> <b>永久凍土</b>	永久凍土は、たとえ夏になっても地下の凍結層が溶けずに残っている土地を指します。地表のわずかな層だけが季節によって溶けますが、その下はカチコチに凍っているため、水分が土壌深くに浸透せず、湿地になりやすい特徴があります。建物を建てる際にも凍土の影響を考慮しなければなりません。
問16	<b>答え</b> <b>プランテーション</b>	プランテーションは、熱帯・亜熱帯地域における大規模な単一栽培農園のことです。コーヒー、カカオ、天然ゴム、サトウキビなどを専門的に生産し、多くを輸出に回します。広大な土地と、現地の安価な労働力や外国からの資本を組み合わせ成り立っています。
問17	<b>答え</b> <b>休閑</b>	休閑とは、土地を使い続けなくて休ませる期間のことです。この期間中に自然に植生が戻ることで、土壌に再び有機物が蓄積され、地力が回復します。熱帯の焼畑農業では、この休閑期間が数年～数十年と非常に長く設定されるのが一般的です。土地を転々と移動することで、自然環境との調和を図りながら食料を生産してきました。
問18	<b>答え</b> <b>ブラジル</b>	ブラジルは16世紀からポルトガルの植民地となり、言語や宗教が持ち込まれました。この結果、ブラジルではポルトガル語が公用語となり、キリスト教が人々の生活や文化に深く根付くこととなりました。現在でもブラジルは世界で最もカトリック教徒の数が多く国として知られています。
問19	<b>答え</b> <b>ステップ</b>	ステップとは、降水量が年間を通じて少ない地域に見られる、樹木のない短い草の草原地帯です。雨が降る短い期間にだけ草が一斉に成長し、それ以外の時期は枯れ草となります。砂漠と草原の境界的な環境であり、広大な地域が家畜の放牧地として利用されることが多いのが特徴です。
問20	<b>答え</b> <b>上座部仏教</b>	上座部仏教は、釈迦の教えを忠実に守ることを重視し、主に東南アジアのタイやミャンマー、スリランカなどで信仰されています。出家した僧侶の修行を重視し、戒律を守る生活を大切にします。一方、中国や日本に伝わった大乘仏教は、人々の救済を幅広く目指す教えとして発展しました。